

彦根市男女共同参画センターにて (2020.12.9)

我が人生80年 —少年のように生きる—

男児 志を立て郷関（きょうかん）を出ず
学 もし成るなくんば 復（また）還らず
骨を埋づむる何ぞ期せん 墳墓の地
人間（じんかん）到るところ青山あり

古川武彦「気象コンパス」
<http://www.met-compass.com>

- 故郷は琵琶湖のほとり、朝妻（昭和15年生）
- 生れて3月、母に抱かれて「満州」へ、6年後に引き上げ（昭和15年～21年）
- 彦根東卒業後、故郷を後に「気象大学校」へ（昭和34～36年）
- 大阪、潮岬で気象観測（昭和36～39年）
- 東京オリンピックの年に「気象研究所」へ（昭和39年～57年）
- 研究生活に終止符、行政へ、運輸省大臣官房へ出向（昭和57年～59年）
- 気象庁に戻り、福岡管区気象台（技術部長）へ（昭和59～平成3年）
- 航空気象管理課長/予報課長（平成3年～9年）
- 札幌管区気象（台長）に転勤、2年後に辞職（平成9年～11年）
- 気象協会へ（平成11年～15年）
- 「気象コンパス」を立ち上げ、執筆や講演、教鞭で気象の啓発（平成15年～現在に至る）

我が家は、一歩外に歩めば、東に「鹿島灘」、西に「霞ヶ浦」





第1次上海事変（昭和7年）で上海に出兵、負傷して内地送還、退役、長浜農学校、満州の中央農事訓練所教官、昭和14年に母と結婚。

旧満州の「新京」に昭和15年8月～21年8月まで



スライド 5

古川1 古川 武彦, 2020/12/01

古川2 古川 武彦, 2020/12/01



VHS VIDEO CASSETTE TAPE
昭25年夏、赤子と良子、良彦と浩司、志津子と良子、初俊、長没日赤病院。9月12日云。



良彦 良子 (新床) 赤子
沼津 農業試験場



VHS VIDEO CASSETTE TAPE
良彦 良子
昭和18年夏



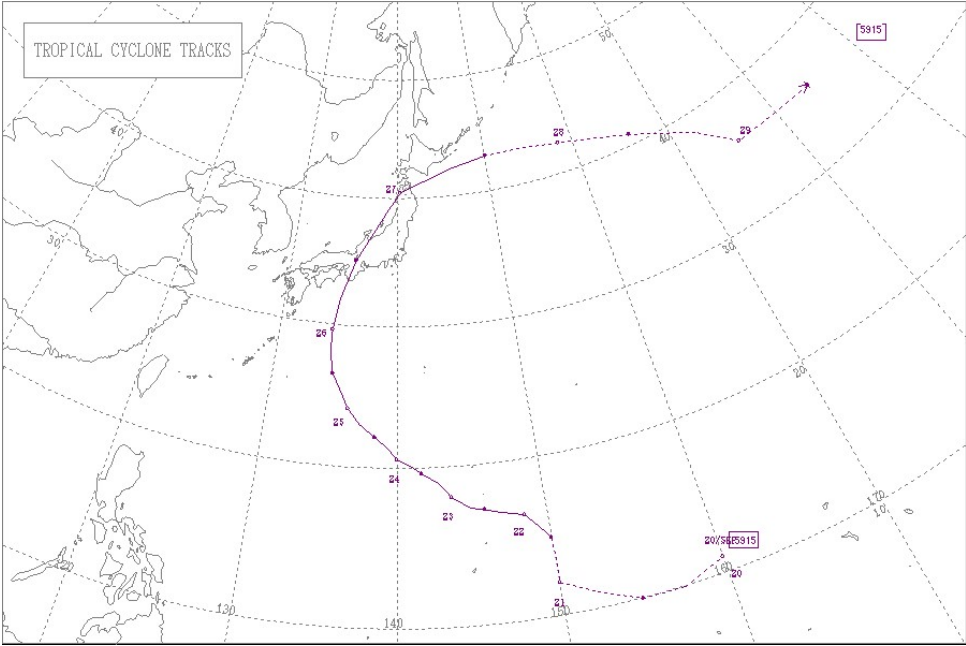
多賀神社参り



**気象大学校（千葉県柏市）
設立以来、定員15名
近年は女性も入学**

**伊勢湾台風（昭和34年9月26日潮岬付近に上陸）
5000人を越える犠牲者**

翌27日は台風一過の晴天



キャンパス



大阪管区気象台時代

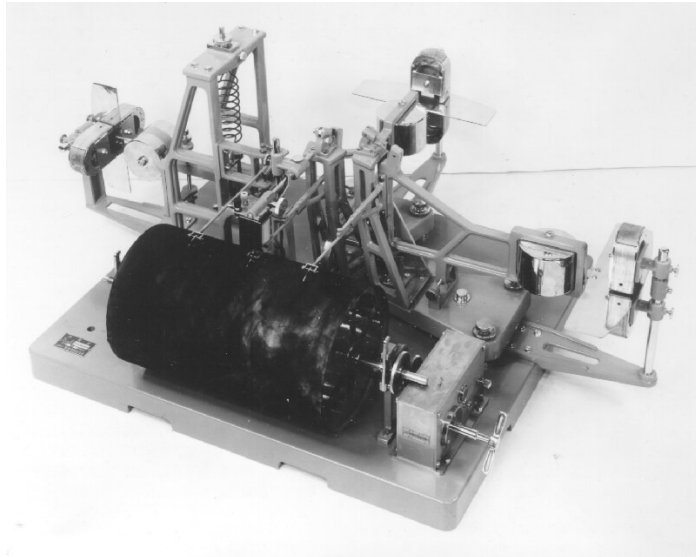
百葉箱



第2室戸台風を経験



地震計



現在の観測装置



潮岬測候所（現在は無人の「特別気象観測所」）



モールス通信

SOS . . . - - - . . .

潮岬の呼び出し . . . - - . . .

気象研究所（茨城県つくば市）



研究はそこそこ、運動に明け暮れる？。労働組合の委員長も。昭和55年に母を亡くす。

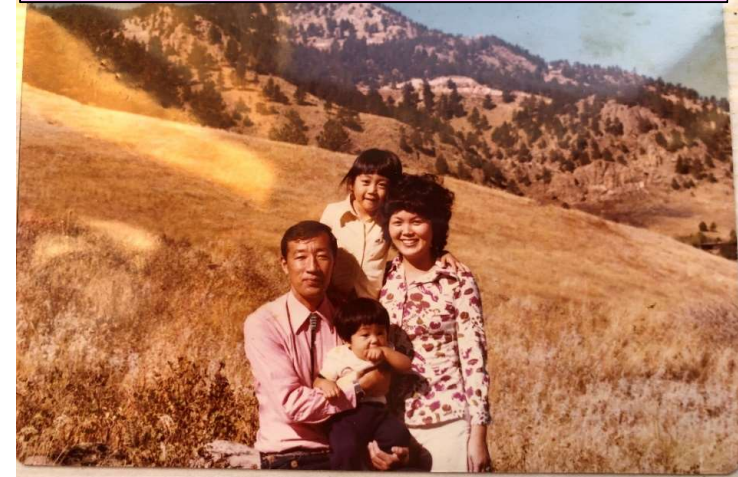


風速計の検定用風洞

35才の時、1年間米国 コロラド州「大気物理研究所（NCAR）」に家族と留学



研究所がある丘で。長女は幼稚園、ピアノを習う。長男1才。



我が家で近所付き合い

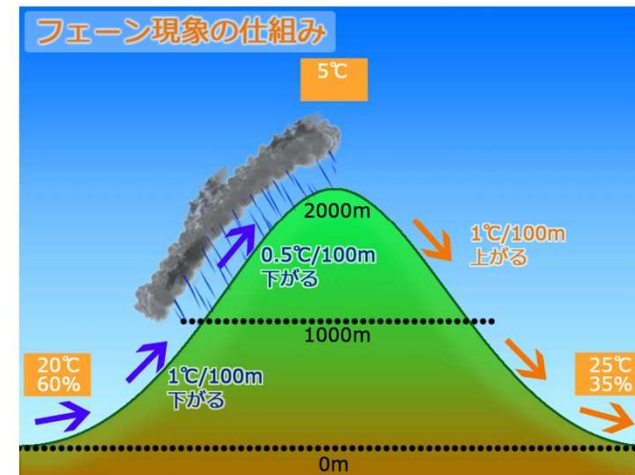
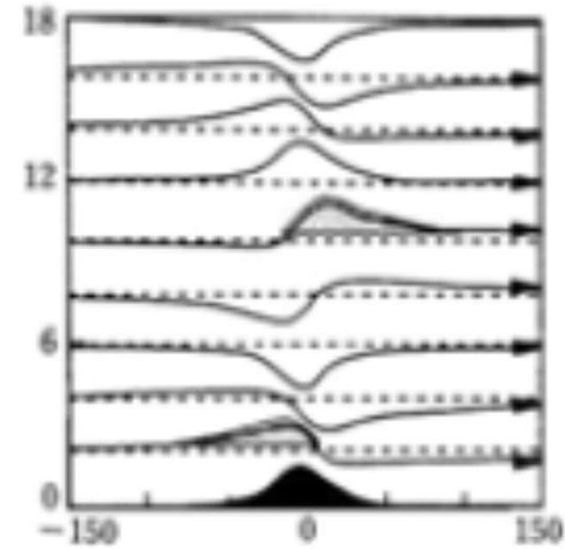
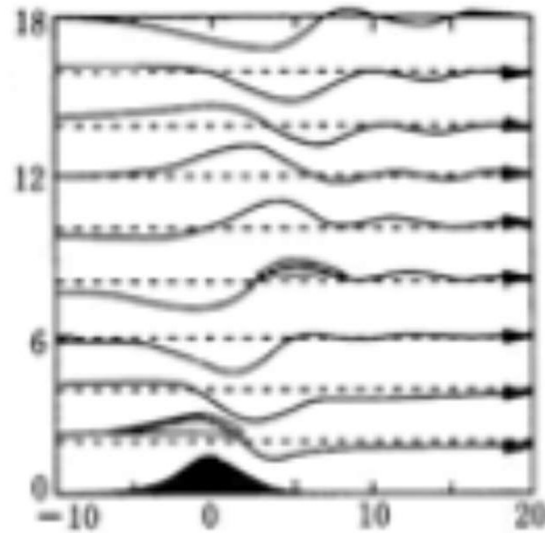


グランドキャニオンやイエローストン国立公園などに家族でマイカーで旅行



博士論文 (九州大学) A Study on Mountain Waves (山越気流の研究)

		page
	Abstract	
1.	Introduction. -----	1
2.	A Review of Theoretical Studies. -----	3
3.	The Purpose and the Strategy. -----	10
4.	The Model and the Basic Equations. -----	12
5.	A Linear Analysis of the Model. -----	19
6.	Numerical Procedures and Parameters. -----	25
7.	Preliminary Considerations. -----	27
8.	Results of Experiments and Discussions. -----	32
9.	Summary and Concluding Remarks. -----	44
10.	An Application to Real Mountains. -----	47
	Appendix. -----	50
	Acknowledgements. -----	56
	References. -----	57
	Figures. -----	63



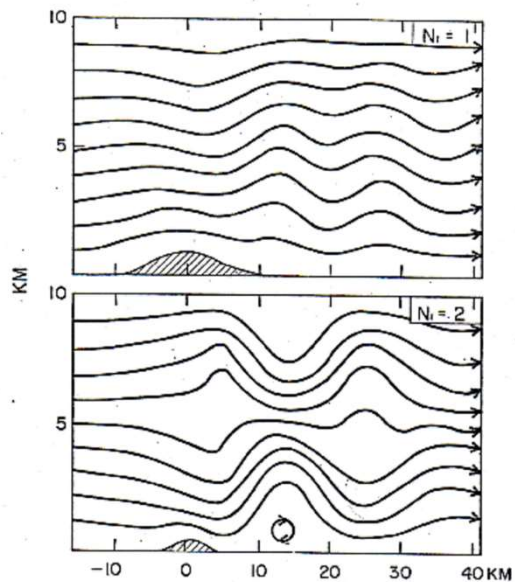
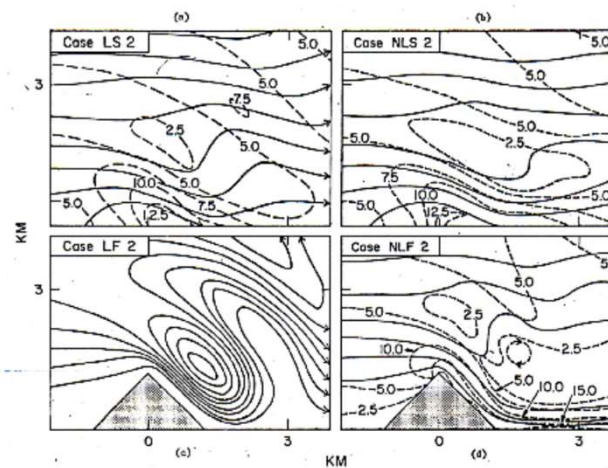


Fig. 8.1

Fig. 8.1 Upper: Streamline fields for case NLSL1 at $T=5.5$ hours. $F_1=0.2$, $n_1=1$, for which predicted resonance lee wave is 15.2 km in horizontal wavelength. $a=0.15$, $b=1.0$. Lower: Similar to the upper, but for case NLSL2 at $T=5$ hours. $F_1=0.143$, $n_1=2$, for which predicted resonance lee waves are 10.1 and 20.5 km in wave length. $a=0.09$, $b=0.4$.



Figs. 8.9(a)-(d)

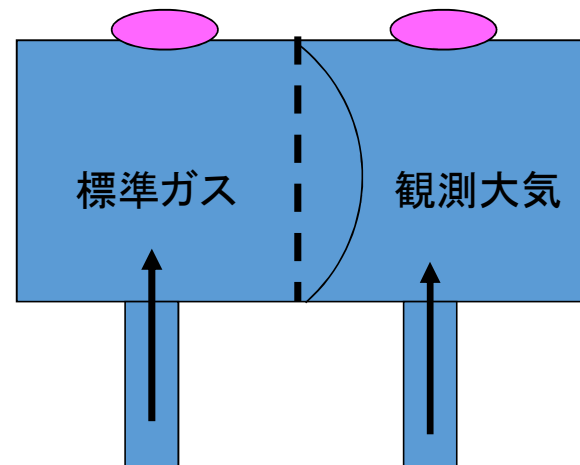
Fig. 8.9 (a), (b), (c) and (d) Similar to Figs. 8.6 (a) - (d), but for the high mountain cases LS2, NLS2, LF2 and NLF2.

CO2の赤外線吸収特性を利用した分析計



地球温暖化の大元、
炭酸ガスの濃度測定の方法

赤外線ランプ



福岡管区気象台（技術部長）時代
管内の野球、テニス大会など、何処にでも
顔を出す、部長らしからぬ男？（49才頃）



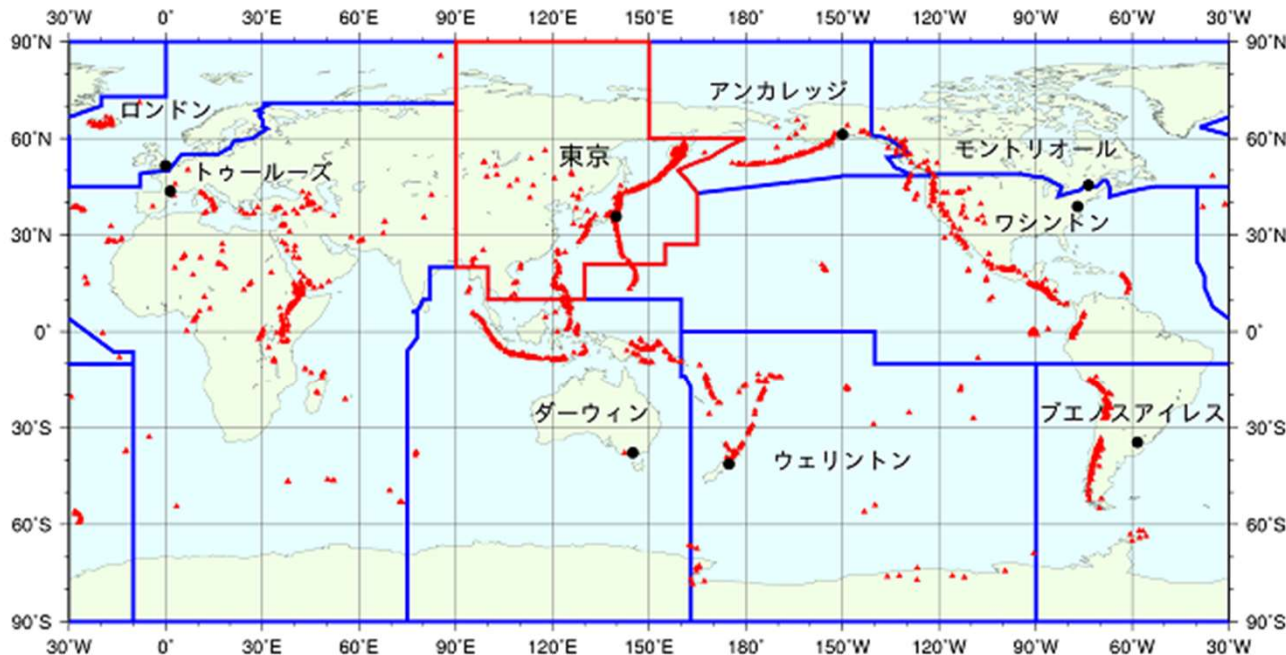
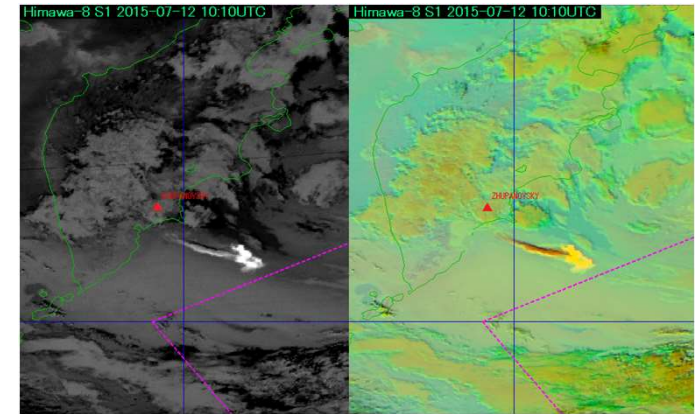
島原半島の「雲仙岳」噴火の予兆。
福岡を離れた1990年に噴火。



タイのバンコクで開催されたICAO総会の席上で、設置を受諾、総会で副議長を務める

航空路火山灰情報センター (VAAC)

航空機の火山灰による被害を防止・軽減するため、世界にはICAOから指名を受けた9つの航空路火山灰情報センター (VAAC : Volcanic Ash Advisory Center) がある。気象庁は1993年に、東アジア及び北西太平洋地域を担当する東京VAACとしての指名を受け、1997年から同地域についての航空路火山灰情報 (VAA) を民間航空会社、航空関係機関、気象監視局などに提供する業務を開始。その後、責任領域が拡張され、現在は東アジア・北西太平洋域及び北極圏の一部を担当



東京 VAAC (赤枠) 及び各 VAAC の担当領域 (青枠)
(●は VAAC 所在地、▲は主要火山)



気象予報士試験結果一覧

2020.10.02

予報課長時代 (54~57才)

気象予報士制度発足 (昭和55年)

「気象予報士試験」試験委員会

受験者：201,936人

合格者：11,179

合格率：5.5%

女性：1,505

(令和2年、第54回まで)

年度(回)	通算回	試験日	申請者数	受験者数	合格者数	合格率
平成6	1	1994.08.28	3,103	2,777	500	18.0%
	2	1994.12.18	2,956	2,705	313	11.6%
	3	1995.03.19	3,012	2,771	277	10.0%
7	1	1995.08.27	3,627	3,257	336	10.3%
	2	1996.01.28	2,753	2,461	204	8.3%
8	1	1996.08.25	3,477	3,083	163	5.3%
	2	1997.01.26	2,924	2,587	206	8.0%
9	1	1997.08.24	3,661	3,281	165	5.0%
	2	1998.01.25	3,484	3,037	162	5.3%
10	1	1998.08.30	4,217	3,705	156	4.2%
	2	1999.01.31	4,172	3,592	160	4.5%
11	1	1999.08.29	4,477	3,981	161	4.0%
	2	2000.01.30	4,344	3,803	195	5.1%
12	1	2000.08.27	4,843	4,337	198	4.6%
	2	2001.01.28	4,286	3,671	234	6.4%
13	1	2001.08.26	4,626	4,147	233	5.6%
	2	2002.01.27	4,508	3,962	211	5.3%
14	1	2002.08.25	4,398	3,898	272	7.0%
	2	2003.01.26	4,740	4,091	242	5.9%
15	1	2003.08.24	5,349	4,800	357	7.4%
	2	2004.01.25	5,287	4,555	262	5.8%
16	1	2004.08.29	5,599	4,958	216	4.4%
	2	2005.01.30	5,296	4,564	195	4.3%
17	1	2005.08.28	5,401	4,804	198	4.1%
	2	2006.01.29	5,491	4,781	223	4.7%
18	1	2006.08.27	5,724	5,074	259	5.1%
	2	2007.01.28	5,366	4,670	294	6.3%
19	1	2007.08.26	5,528	4,943	216	4.4%
	2	2008.01.27	5,362	4,587	206	4.5%
20	1	2008.08.24	5,201	4,560	225	4.9%
	2	2009.01.25	5,076	4,329	272	6.3%
21	1	2009.08.30	5,497	4,885	230	4.7%
	2	2010.01.24	5,257	4,505	216	4.8%
22	1	2010.08.29	5,383	4,787	298	6.2%
	2	2011.01.30	5,015	4,330	244	5.6%
23	1	2011.08.28	4,836	4,349	190	4.4%
	2	2012.01.29	4,575	3,952	184	4.7%
24	1	2012.08.26	4,541	4,016	170	4.2%
	2	2013.01.27	4,337	3,711	150	4.0%
25	1	2013.08.25	4,112	3,613	170	4.7%
	2	2014.01.26	3,958	3,391	134	4.0%
26	1	2014.08.24	3,707	3,275	161	4.9%
	2	2015.01.25	3,655	3,116	130	4.2%
27	1	2015.08.30	3,616	3,153	125	4.0%
	2	2016.01.31	3,409	2,902	130	4.5%
28	1	2016.08.28	3,533	3,089	127	4.1%
	2	2017.01.29	3,235	2,795	138	4.9%
29	1	2017.08.27	3,364	2,962	145	4.9%
	2	2018.01.28	3,248	2,788	163	5.8%
30	1	2018.08.26	3,274	2,915	158	5.4%
	2	2019.01.27	3,388	2,857	135	4.7%
令和元	1	2019.08.25	3,319	2,957	132	4.5%
	2	2020.01.26	3,463	2,969	172	5.8%
2	1	2020.08.23	3,583	2,848	166	5.8%
計			230,593	201,936	11,179	5.5%

※合格率は、受験者に対する合格者の割合です。

札幌管区気象台長時代（57～59才）



若者に負けじと野球、バレーに、そして懇親会・宴会に

長男と米国、NCARへ



予報課長時代も、本庁合同チームとして、福岡管内バレー大会に遠征



予報課長時代、大手町のビル街のど真ん中で、昼休み時間に赤パンでバレー！！
評判はあまり良くなかった？

気象協会時代：「海外技術協力事業団（JICA）の無償技術援助プログラムで、延べ3年間、モンゴルへ



非常に親日的、相撲は大人気、日本から通信衛星でテレビ中継



モンゴル スナップ写真







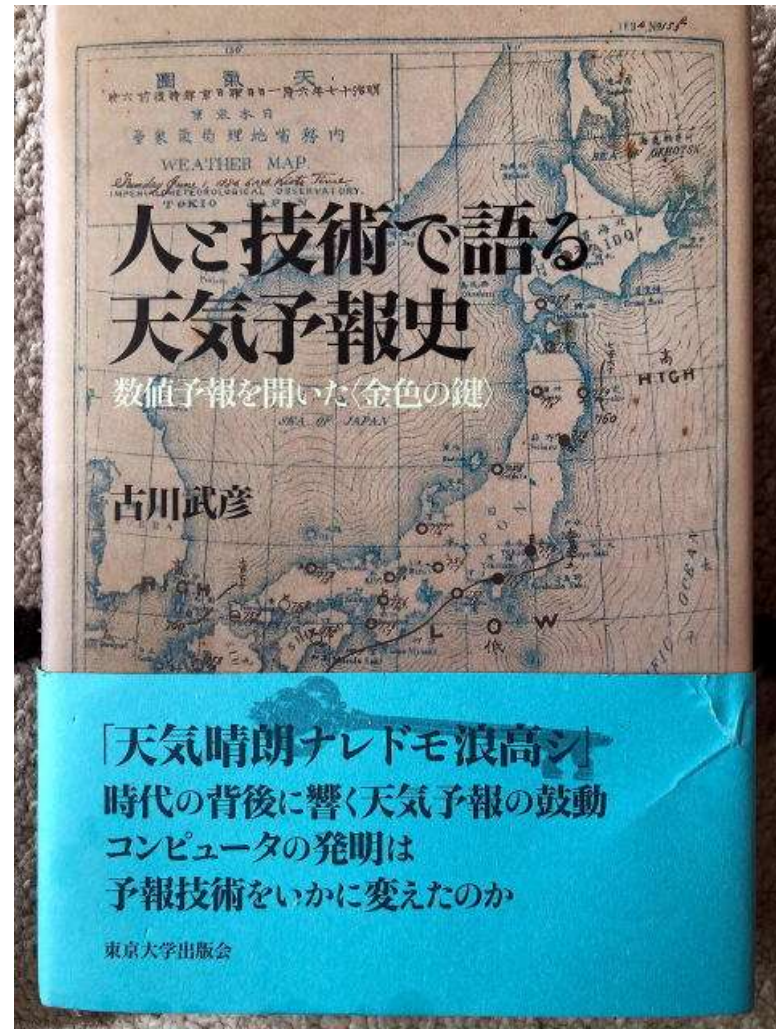
気象協会時代：「海外技術協力事業団（JICA）の無償技術援助プログラムで、ラオス国際空港の気象レーダ建設に参加。



モンゴル気象局での教え子が来日：熱海などを案内



天気予報の歴史を訪ねて、単身、リュックを背負って、米国へ取材旅行



兄弟で、昔住んでいた満州（新京）を訪ねる



日中韓合同国際会議（韓国：ソウルで開催）に出席（気象学会副理事として）



今でも毎年、超OBを顧みず、気象大学野球部OB会に出席



家庭菜園



「鹿島灘」の潮騒を耳に
農作業を地で行く
(晴耕雨読) ?



地元 鹿嶋市内の4つの小学校で英語の先生（1年間）



本物ワインクラブ（会長）



小学校時代の同窓会



「かしま灘楽習塾」の塾生との懇親・見学など



楽しい仲間達



鹿嶋市報（気象コラム）執筆

2020.8.15

古川博士の気象コラム

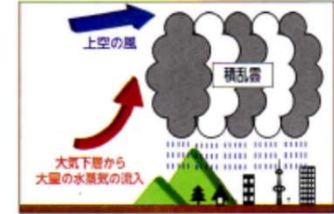


古川 武彦…理学博士。元気象庁予報課長、札幌管区気象台長。退官後に「気象コンパス」を立ち上げ、気象の啓発活動などを行う。

この春以来、鹿嶋でもコロナ対策で花火大会や海水浴場、夏祭りなどが中止となり、気軽な外出も難しい日々が続いていますが、鹿嶋神宮では「疫病平定」を願って「大助人形」が飾られました。早い収束を願うばかりです。

さて先月、九州に大きな被害をもたらした豪雨は「令和2年7月豪雨」と命名されました。この豪雨は、延べ2週間も日本周辺に居座った梅雨前線に沿って生まれた「線状降水帯」によるものです。

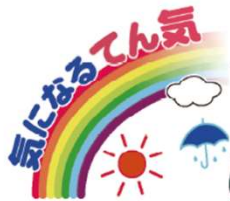
梅雨前線は、日本の南海上で発達する「小笠原高気圧」の西縁を時計回りに巡る南風と、日本海方面の高気圧からの北風が押し合い形成され



▲次々生まれる積乱雲が上空の風に流され、線上に並び「線状降水帯」になる。

ます。帯状に南北100km程度、東西1000km程度にもなる梅雨前線に沿って、高さが1万mにも達する積乱雲が集团的または散在します。このとき積乱雲は、次々と発生し1時間程度で消滅。これが繰り返されます。

今回の線状降水帯は、梅雨前線に流れ込む非常に湿潤な南西風が上昇して、積乱雲が次々に生まれ、線状に並んで形成されたもので、九州北部などに豪雨をもたらしました。これから台風季節を迎えますので、皆さんもコロナ禍の防災の備えをしておきましょう。



古川博士の気象コラム

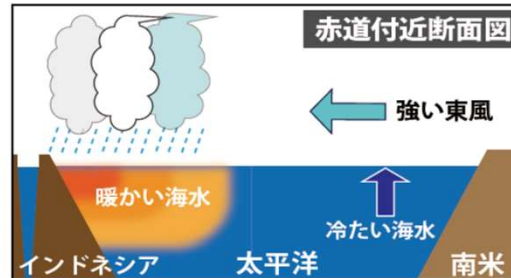


古川 武彦…理学博士。元気象庁予報課長、札幌管区気象台長。退官後に「気象コンパス」を立ち上げ、気象の啓発活動などを行う。

12月21日の「冬至」を境に、太陽は高く昇り、また昼間が長くなり始めます。あちこちで庭先の柚子が黄色く色づいています。私も毎年知り合いから頂いています。

今冬は西日本から東日本にかけて平年並みかやや寒い予報ですが、これはシベリア大陸から寒気がしばしば日本列島に南下することを意味します。気象庁は寒さの原因を「ラニーニャ現象」が継続すると予報しています。これは、赤道付近を年中吹いている東風が普段より強まっ

赤道付近断面図



▲今年の冬が寒くなる原因とされているラニーニャ現象の仕組み

て、暖かい海水がインドネシア近海に吹き寄せられ、そこでは10kmを優に超える「積乱雲」が林立して上昇気流も強くなります。雲のてっぺんから吹き出す空気は北に向かい、シベリア大陸上空で下降気流となって「シベリア高気圧」を発達させ、冷たい北西風が吹くため、日本付近では冬の気温が低くなるという傾向があります。

この冬は、「柚子湯」で体を暖め体調を整えましょう。

